

2017/6/5-6/11 デボーションガイド 「ユースマナ」 詩篇 27:4 私は一つのことを主に願った。 私はそれを求めている。私のいのちの日の限り、主の家に住むことを。主の麗しさを仰ぎ見、その宮で、思いにふける、そのために。	2017/6/5(月) ネヘミヤ 7:1-60 ネヘミヤは、二人の人物にエルサレムを治めるように命じた。その二人がハナ ニとハナヌヤである。ネヘミヤが選別基準としたのは、誠実さと神をおそれる心の態度であった。 エルサレムを再建するというのは、こうしてみると、ただ帰還し、城壁を再建し、という以上の努力を必要としたことがわかる。あらゆるものを動員し、再配置する知恵を必要とすることであった。そしてまさに神の恵みあってこそ、成し遂げられることであった。 あなたが今任されている神様からの働きは何だろうか？忠実に仕え、神様により用いられる者になろう！	2017/6/6(火) ネヘミヤ 7:61-72 帰還者の中に奴隷がいたことも書かれているね！捕囚の民に奴隷がいることは、実はとても凄いいことなんだ！！バビロンに連れて行かれても神様は、「その町でその町の繁栄を求めて祈りなさい。それはあなた方の繁栄となる」とエレミヤを通して約束して下さったよ！！(エレミヤ 29:4-7)その命令を守った人がたくさんいたから、神様は約束の通り祝福して下さいだね！！ 捕囚の地でも、神様がともにいてくれるように、どんなに辛い事の中にも神様の恵はあるんだね！！今日神様が与えてくれている約束と恵を思い出して感謝しよう！！	2017/6/7(水) ネヘミヤ 8 章 今日の箇所は、ネヘミヤ記で初めてエズラが登場する。 エズラは、律法の書を夜明けから真昼まで朗読した。律法の書を聞いた者は、理解しただけではなく即座に従った。律法の書に耳を傾けた民には悔い改めの心が与えられ、その涙は喜びに変えられていった。主は、エズラとエズラと共に立ち並んだ人たちを通して、民を励ました。総督ネヘミヤも、特別な日として喜ぶように奨励した。民は、大いなる喜びに満たされた。 「主を喜ぶことは、あなたがたの力であるから」(欄外注別訳) 彼らは教えられたことを理解して 大いに喜んだ。 主よ。教えてください。よく理解できますように！そしてあなたを喜ぶ者としてください！
2017/6/8(木) ネヘミヤ 9:1-15 今日の箇所は、悔い改めとへりくだりの恵みにあずかった民の祈りが書かれている。 1-5 節でその時の状況が説明され、それ以降は民の祈りである。 神様はエジプトにおいても民を見守り続け、出エジプトの際の危機も叫びを聞いて助けを与え、荒野においては「雲の柱」「火の柱」によって行くべき道を教え、飢えたときには天からパンを、渴いたときには岩から水を出し与えた。 神様の信じたときからの恵みを思い出してみよう。そして感謝し今日も神様にあって力強く歩もう！！	2017/6/9(金) ネヘミヤ 9:16-38 今日の箇所から神様が人の想像を超えた憐れみを持っている事がよく分かります。 私達には罪の性質があり、同じ間違いを何度もしてしまう事があります。でも今回のイスラエルの民達の間違ひは相当なものだと数だったけど、民達が神様に立ち返る時、神様は愛と憐れみを持って民達を救った。 私達も罪の性質があります。けれどそれ以上に神様の愛とキリストの命が私達の内にあり、悔い改めるなら、許されます。今神様の前に出ますと祈り、もし思い当たる罪があるならば悔い改めよう！必ず許され新しくされます！そしてその事を感謝し今日の祝福を祈ろう！	2017/6/10(土) ネヘミヤ 10 章 今日の箇所は盟約を結んだ人たちの名前がズラッと書いてある。 この盟約は神様への礼拝や、捧げものなどのことについての誓いで、自分の意思でその人自身が自分から加わった人によって結ばれた。この盟約の目的は 39 節にあるとおり『神の宮をなおざりにしない』ためだった。 神様との関係、神様への礼拝の場所それを大切にしていくなために、この盟約はつぐられ、その意思がある人が参加していたんだ。 今日静まって神様と自分の関係について思い巡らそう。神様との関係を大切にしていくなために今できることはなんだろう？	2017/6/11(日) ネヘミヤ 11 章 今日の箇所では、エルサレムに移住する人々によって確保することになりました。また、くじによってではなく、自ら進んでエルサレムに移住することを選んだ人もいて、そのような人々は尊敬を込めて祝福されました。しかし、この時に誰が町を再興することを予測していたのでしょうか。彼らが捕囚から連れ戻されて、町を再興することは、遠い昔から預言されていたことでしたが、実際にそのようなことが起こるなど考えられもしなかったでしょう。このような歴史を示しながら、聖書が語ろうとしているのは、神様が真実であって、その預言のことばのすべてが成就されることなのでしょう。私達には歴史が証拠として残されています。その証拠を前に、私たちは神様への信頼を新たに、進んで困難な土地に行くことを祝福として受け止めていきましょう！

